

事業名：「水文調査業務システム改善」

【当初】



データロガーが雪の下に埋まっている状態



冬期は設備の上に積もった雪(平均で約2メートル)の除雪作業をしなければデータロガーに辿り着けない

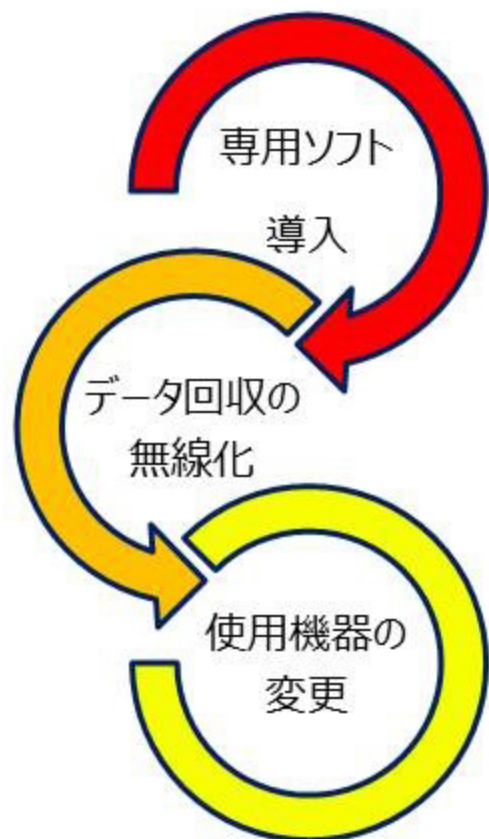


データロガーとPCを物理ケーブルで接続しデータ回収

一連のデータ回収作業の効率化(装備の軽量化と屋外作業時間の短縮)と併せてコストを低減したい。

【補助対象事業の概要】

データロガーからのデータ回収方法を有線（ケーブル）から無線（Bluetooth）へ。
屋外作業時の使用機器をPC→タブレット端末・スマートフォン対応とし利便性の向上。



装備の軽量化
時間の短縮



タブレット端末・スマートフォンの活用
により回収設備の汎用化を図る



雪中のロガー位置

社員が調査業務に専念できる環境を整備

より質の高い調査ときめ細やかな顧客サービスの提供へ